

『母語でない英語』 で学術論文を書く ということ

Writing academic papers in English as foreign language

日時・会場

東広島キャンパス

2020年

3月3日 (火) 13:30-15:30

中央図書館 ライブラリーホール

対象：広島大学の研究者
※大学院生も参加可

新任教員研修プログラムの対象です

This seminar will be given in Japanese, but the slides are Japanese/English bilingual.
Q & A will be either in Japanese or in English.

「母語ではない英語」で研究を世界に問うことは今や当たり前、とはいえ、大学院生・研究者にとって、英語で投稿論文を書く現実決して甘いものではない。このセミナーでは、研究生活の入り口に立つ学生・院生の皆さん、その指導しておられる先生方とともに、学術英語にはどのような特徴があるのか、母語が英語でない私たちがどのように英語論文に取り組みばよいのかを、演習も含めながら共に考える。併せて東京大学教養学部における初年時の英語論文執筆プログラム ALESS・ALESAsの取り組みと、それを支援する学習支援センター駒場ライターズスタジオの活動を紹介します。論文執筆におけるライティングセンターの役割にも触れる。

講師

片山 晶子

東京大学教養学部 ALESS ALESA FLOWプログラム 特任講師
駒場ライターズスタジオ マネージャー

早稲田大学法学部卒。その後、ボストン大学にて第二言語としての英語教育に関する修士号、テンプル大学にて応用言語学分野での博士号(教育)を取得。自ら大学英語教育に携わる一方、日本人にとっての英語・日本における英語教育に関する社会言語学的研究を、米国応用言語学会等多くの国際学会で発表されています。また東京大学教養学部のライティングセンター駒場ライターズスタジオでは、初年次の英語論文執筆および口頭研究発表の支援に尽力されています。現職には2011年4月着任。



申込み・問合せ：広島大学ライティングセンター www.hiroshima-u.ac.jp/wrc

学術・社会連携室 企画推進部門 (ライティングセンター担当)

東広島4469 E-mail: wrc-research@office.hiroshima-u.ac.jp